

《外国語活動における各学年の特徴》

- 3年 外国語の言語について興味をもち、学習した表現を積極的に発話しようとする児童が多い。
- 4年 外国語の言語について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。

育てたい力（課題）

- 3年 学習した外国語の表現を用いて、コミュニケーションを図る力。
- 4年 学習した外国語の表現を用いて、積極的にコミュニケーションを図る力。

育てたい力（課題）

- 5年 英語の特徴やきまりについて理解し、すすんで表現したり伝え合ったりする力。
- 6年 習得した言葉や文の構造を理解し、すすんでコミュニケーションを図り、活用する力。

《外国語科における各学年の特徴》

- 5年 外国語の言語や文化について興味をもち、学習したことを積極的に活用しながら、他者とコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。
- 6年 外国語の言語や文化への関心が高く、学習したことを活用しながら、コミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方、英語での発表に自信がなく、消極的な児童もいる。

☆授業改善の具体策☆

- ・ALT等（ネイティブスピーカー）や友達との体験的なコミュニケーションの重視
- ・簡単な語句や基本的な表現について、音声や文字による掲示
- ・児童にとって身近なコミュニケーションの場面の設定
- ・ICT機器の有効活用による視覚化

《知識・技能》

- 3年 動画や歌、チャンツ、ALTとの関わり合いを通して、音声やリズムなどに慣れ親しませる。
- 4年 ALTとの関わり合いを通して、基本的な表現に慣れ親しませ、学習した語句や表現をやり取りの中で活用する。
- 5年 習得した言葉や表現を理解し、コミュニケーションで活用する基礎的な技能を身に付ける。
- 6年 習得した言葉や文の構造を理解し、コミュニケーションで活用する技能を身に付ける。

《思考・判断・表現》

- 3年 慣れ親しんだ語句や基本的な表現を活用させ、身の回りの物や身近で簡単な事項について表現する力を育てる。
- 4年 慣れ親しんだ語句や基本的な表現を活用させ、身近で簡単な事項について、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てる。
- 5年 簡単な事柄について、目的に合った会話をして、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てる。
- 6年 簡単な事柄について、目的に合った会話をしたり書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てる。

《学びに向かう力》

- 3年 外国語を使って伝え合う体験を通して、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 4年 日本と外国の文化の違いに気付き、外国語を使って伝え合う体験を通して、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 5年 外国の文化に興味をもち、習った表現を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 6年 外国の文化に興味をもち、習った表現を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。